

# 被爆者運動の自立を戦後史に位置づける

2015年に始まった被爆者運動に学び合う学習懇談会は、さまざまなテーマでつづけられてきました。当時の運動を知る人にも知らない人にも、毎回あらたな発見が生まれています。

シリーズ12回目となる今回は、昨年4月に『被団協関係文書』調査報告～『被団協連絡』を読む／『被団協速報』の誕生～と題してご報告くださった昭和女子大学の松田忍さんに、2回目のご報告をしていただきます。2013年から同大学生による愛宕事務所での被団協運動史料の整理作業を指導してこられた松田さんは、昨年、学生が主体となる4年がかりの「戦後史史料を後世に伝えるプロジェクト—被団協関連文書」を立ち上げ、とりくんでおられます。お誘いあわせて、ぜひ多数ご参加ください。

## 記

- ◆ 日 時 2019年4月13日（土）午後1：30～4：30
- ◆ 場 所 主婦会館 プラザエフ（5階 第1・2会議室）【裏面地図参照】  
東京都千代田区六番町15  
JR中央・総武線、東京メトロ丸の内線・南北線「四ツ谷」駅 麴町口正面
- ◆ 問題提起者：松田 忍氏（昭和女子大学 人間文化学部 歴史文化学科准教授、日本近現代史）

テーマ：被爆者運動の自立を戦後史に位置づける

報告の概要：1960年代後半、日本被団協は原水禁運動から自立し、被爆者の声を集約し被爆者自身が行動する運動団体として再出発する。本報告では、運動再建時の中核的なメディアとなった『被団協速報』（1966年11月15日発刊）の分析を通じ、被爆者運動の再建の論理を示し、被爆者運動を戦後日本運動史に位置づけるための提起をおこないたい。

- ◆ 定 員：50人 【※ 準備の都合上、事前のお申し込みにご協力ください】
- ◆ 参加費：1,000円（学生・院生：500円、高校生：無料）
- ◆ 申込み方法 裏面「参加申込書」（FAX）またはe-mailでお申し込みください。

---

主 催：ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会／日本原水爆被害者団体協議会

〒102-0085 東京都千代田区六番町15 プラザエフ6F TEL/FAX 03-5216-7757

E-mail: hironaga8689@gmail.com

【会場地図】 プラザエフ（主婦会館）



主婦会館プラザエフ交通のご案内

- ・ J R 四ツ谷駅 麴町口前（徒歩 1 分）
- ・ 東京メトロ 丸の内線/南北線 四ツ谷駅（徒歩 3 分）

ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会 宛

FAX : 03 - 5216 - 7757

e-mail : hironaga8689@gmail.com

参加申込書

4. 13 「被爆者運動から学ぶ 学習懇談会」（第12回）に参加します。

|                        |        |  |
|------------------------|--------|--|
| 氏 名                    | 電 話    |  |
|                        | e-mail |  |
| 聞きたい、<br>学びたいと<br>思うこと |        |  |